

みなと新聞

YATSUSHIRO



日本最大の客船「飛鳥」初入港!



秀岳館高校の生徒さんによる、唄と三味線にあわせた迫力の演舞

次回は、平成15年
10月11日(土)、13日(祝)に
入港する予定です。

昨年10月11日(金)・15日(火)及び11月12日(火)に日本最大の豪華客船「飛鳥」(郵船クルーズ(株)所有)が八代港に入港しました。

10月の入港は、八代港発着の上海5日間クルーズで、八代港へは、初入港でした。中島市長による挨拶のほか、当協会より、花東・入港記念プレートと「飛鳥」の幡野船長に贈呈し、歓迎の意を表しました。

また、出港の際は、秀岳館高校の生徒約300名により艶やかな「ソーラン節」の演舞が披露され、集まった多数の見学客と共に見送りました。そして午後2時、五色の紙テープと色鮮やかな無数の風船が上空に舞う中、「飛鳥」は静かに岸壁を離れ、上海に向けて出航しました。

11月は、名古屋から九州観光ツアーのお客様を乗せて寄港。この日は、抽選で選ばれた約200名の方々が船内見学をしました。内部の豪華な客室や装飾品の他、カジノ、映画館、美容室などの施設をおよそ1時間にわたり見学しました。当協会では、岸壁で「飛鳥グッズ」を販売し、見学者は思い思いに購入していました。

今年も飛鳥は10月に寄港します。当協会では、さまざまな歓迎イベントで飛鳥を迎えたいと考えています。どうぞ、見学においでください。

ホームページ開設します。

<http://www-ya.magma.ne.jp/~yport/>

最大の貿易港です!



熊本県のみなと

港の機能や整備状況で、その港の性格や能力は違ってきます。熊本県内には、県管理港として重要港湾3港（国際海上輸送網又は国内海上輸送網の拠点となる港湾その他の、国の利害に重大な関係を有する港湾で政令で定めるものをいう）、地方港湾15港があり（他に市町管理港36港）があり、県内の物流・人流の場として社会経済に大きく貢献しています。中でも私たちの八代港は、八代地域はもとより、県内外にわたり、広く物流の中心港として重要な役割を担っています。

今回は、八代港がいかに大切な港であるか、色々なデータを基にご紹介します。



◆八代港

重要港湾（昭和34年6月11日指定）
3万トン級船舶対応の-12m岸壁を有する。
コンテナ施設：ガントリークレーン、ストラドルキャリア
国際コンテナ八代～釜山航路 3便/週

◆熊本港



重要港湾（昭和49年4月23日指定）
5千トン級船舶対応の-7.5m岸壁を有する。
コンテナ施設：ジブクレーン、ストラドルキャリア

◆三角港



重要港湾（昭和26年1月19日指定）
1万5千トン級（旅客船）対応の-7.5m岸壁を有する。

八代港

熊本港

三角港



海上保安庁イメージキャラクター「うみまるくん」



税関イメージキャラクター「カスタムくん」

「八代みなと再発見！ ～八代港を知る2日間～」を開催。



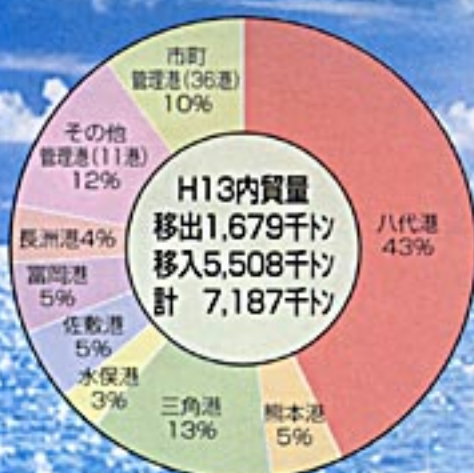
このイベントは、八代港をもっと知ってもらおうと、当協会と八代市で主催したもので、八代港の歴史や港湾施設の様子を説明したパネルや、模型などを多数展示し、八代港を紹介しました。その他に国土交通省、熊本県のブースや八代税関支署、海上保安庁のイメージキャラクターも登場し、子供達の歓声をあげていました。また、会場では、八代港に関するアンケートを実施し、多数のご協力を頂くことができました。協会では、これらの貴重なご意見を今後の八代港の振興に活かしたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

昨年11月30日（土）、12月1日（日）の2日間、八代本町2丁目アーケード内でPRイベント「八代みなと再発見！～八代港を知る2日間～」を開催しました。



八代港は熊本県内

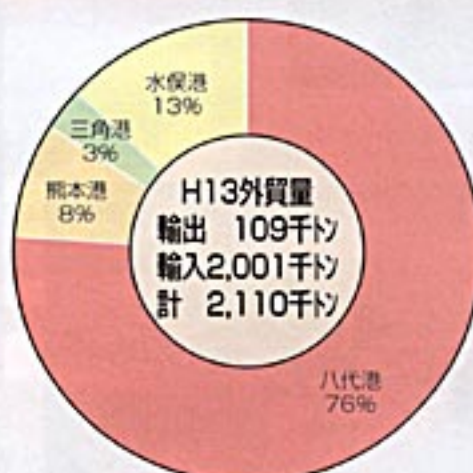
国内輸送(内貿)を支える八代港



平成13年港湾別移出入量

熊本県における港湾で取り扱われる国内輸送貨物は、その大部分(約91%)を県内で消費される建築資材(砂・砂利・セメント)、エネルギー(石油製品)で占めています。これら国内輸送貨物は、八代港で県全体の43%が扱われており、他港に比べて非常に大きな役割を果たしています。

外国貿易を支える八代港



平成13年港湾別輸出入量

熊本県における外国貿易の多くは、八代港で県全体の76%が取扱われています。そのうち、八代港の背後圏に立地する企業で利用される原材料(チップ、石炭等)、畜産業を支える飼料(穀物)などのバルク貨物が大部分(約93%)を占めています。



※移出入(国内輸送のこと)

取扱貨物量

熊本県内港湾全体での取扱貨物量(フェリーを除く)930万トンのうち、八代港で467万トン(50%)、三角港で104万トン(11%)、水俣港で53万トン(5.7%)、熊本港で52万トン(5.6%)を扱っています。

資料提供:熊本県土木部港湾課

「八代港港湾振興協会」では、 会員を募集しています。

八代港は九州の中心に位置し、九州縦貫自動車道八代ICにも直結しており、南九州の物流拠点として今後ますます発展が見込まれます。その八代港を美しく、賑わいのある港にしようとする協会の活動にご賛同いただける機関、企業及び団体等の新規入会を随時募集しています。詳しくは事務局へお問い合わせ下さい。

「みなと新聞YATSUSHIRO」についてのご意見、ご感想を募集しています。

同時に、八代港港湾計画改訂についてのご質問やご意見もお待ちしております。とんとんお寄せください。



八代港港湾振興協会事務局
(八代市役所企業振興課内)
〒866-8601 八代市松江城町1-25
TEL・FAX/43-7855
E-mail/yport@ya.magma.ne.jp

※次回の「みなと新聞YATSUSHIRO」は、平成15年9月頃の発行を予定しています。

就任のごあいさつ



八代港港湾振興協会会長
小笹康介

去る二月七日付けで当協会会長に就任致しました、小笹でございます。八代港はこれまで多くの皆様のご尽力により、熊本県第二位の国際貿易港へと成長し、八代地域のみならず、南九州地域振興の核として位置付けられております。しかしながら、近年におきましては長引く不況の影響により、港間の競争が激化してきております。このような状況下におきましては、多くの市民の皆様が八代港への関心を高めていただくことが、今後における最大の八代港振興策ではないかと考えております。当協会の活動を通じ、魅力ある港づくりへ邁進してまいりる所存でございますので、当協会及び八代港へのご意見、ご要望を多数お寄せ下さいませ。すようお願い申し上げます。略儀ながら書中にて就任のご挨拶を申し上げます。

八代 みなと物語 vol.2

内港



昭和30年ごろの内港整備



昭和36年ごろの八代港内港地区



現在の内港の様子



昭和16年、蛇籠港は河口港のため水深が浅く、大型船が着岸できませんでした。そのため、増大する輸送需要に対応することが困難となりました。

そこで昭和23年に八代港修築計画が策定され、内港地区では、導流堤により港湾と河川が分離され、第二期5カ年計画で物揚場400m(水深3m)及び、岸壁100m(水深5m)を中心とする整備に着手しました。これにより、内貿取扱施設の整備が急速に進むこととなりました。

昭和57年6月、八代、松島を結ぶフェリー「松島」が就航し、内港は現在も旅客船の発着場として、多くの人に利用されています。

「うみの知識、 みなとの知識」

vol.2 寄せてはかえす波

海岸で見ていると、波はいつも押し寄せてきたり、引いたりしています。この波はどうして起こるのでしょうか？

海の波は風が吹くと起こります。風は波を後ろからおすようにしながら波の速さを加えていき、同時に大気圧力で水面が引っ張られて持ち上がります。風が強いほど、風の吹く時間や距離が長いほど波の高さも高くなるわけです。



地球環境にやさしい海上輸送

船舶による海上輸送は一度にたくさんの貨物を運ぶことができるため輸送コストが少なく済むという特徴があります。他の輸送機関と比べてエネルギー効率が良く、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量もトラックの約5分の1と、地球環境にやさしい輸送方法です。

ガソリンなどの石油類やセメントについては、県内使用量の8割以上が船で運ばれています。また、建設資材である砂・砂利は県内の港間で多く運搬されています。



編集後記

今回は2回目の発行になりますが、八代港が熊本県最大の国際貿易港であるということや、市民の皆様が認識していただくため、特集を組み、数字やグラフで示すなどわかりやすい説明を念頭に編集いたしました。

また、昨年は大型客船の寄港が相次ぎ、多くの市民の皆様が八代港に足を運ばれるなど、大型客船への関心の高さが伺われましたので、その歓迎の様子を表紙に掲載いたしました。

来年度も引き続き発行を予定しておりますので、ご意見・ご要望がございましたら、ぜひ、お聞かせ下さい。